

令和元年度 第1回安城市民ギャラリー運営委員会〈議事録〉

令和元年5月21日(火)

午後3時30分～午後4時45分

安城市民ギャラリー会議室

出席者

委員：石川委員、丸山委員、齋藤委員、近藤委員、香村委員、加藤委員

事務局（市）：近藤生涯学習部長、近藤文化振興課長、峯村芸術文化係長、
澤原専門主査、山本主事、荒木社会教育指導員

指定管理者：杉浦統括マネージャー、山口統括責任者、早川事業マネージャー

1 市民憲章唱和

2 委嘱辞令交付

山本主事	図工・美術科指導員の交代に伴い、齋藤みゆき教諭へ委員を委嘱。 任期は前任者の残任期間。
齋藤委員	今池小の教諭。力になれるかわからないが、小中学生が美術に馴染めるよう頑張りたい。

3 あいさつ

近藤部長	ご多忙の中、出席ありがとうございます。教育長に代わってあいさつを申し上げます。2年間よろしく申し上げます。昨年度の利用者は約7万4,000人で一昨年度より3,700人増加。「セロテープアート展」は過去最高の入場者。「バルーンアート展」や「木のおもちゃ展」なども多くの来場者があった。今年度は全国5館が参加する共同巡回展を予定している。9月から年度末までの歴史博物館改修工事によりご迷惑をお掛けするが、ご協力お願いします。市民ギャラリーが市民に親しんでもらえるよう、忌憚のないご意見をお願いします。
------	--

4 協議事項

(1) 平成30年度市民ギャラリー利用状況について

	(指定管理者による説明)
近藤委員	展示室D・Eが空いている。特に冬の時期。もっと使ってもらいたい。
杉浦マネ	11月～1月は今年度も空いている。声かけできる団体を増やすために公募などを含めて検討したい。
石川委員	3階は利用しづらい。それを考慮してPRしてほしい。催し物が出て来ないのであれば仕方がないが、会場の状態が原因であれば努力の余地はある。それを踏まえて新年度の計画を考えてほしい。

(2) 平成30年度市民ギャラリー事業報告について

	(事務局、指定管理者による説明)
近藤委員	企画展の関連イベントに子どもの講座があり、お楽しみ要素が多くて良い。定員確保率は100%に近い。「素材と造形美の融合」のように展示のみだと集客は今一つ。本格的にしすぎても集客は難しい。
加藤委員	「木のおもちゃ展」は、園児も来ていて良かった。作品も迫力があって素晴らしい。
近藤委員	版画講座は人気だが、安美展に出品する人はいないか？
峯村係長	事務局としても安美展につながるのが理想だが、版画をやっている人は油彩もやっている人が多く、安美展の規定では同じ部門から出品できず、油彩が優先されてしまう。版画協会の公募展や個展に出している人はいる。
丸山委員	版画を安美展に出すにはサイズやプレス機の問題で難しい。「木のおもちゃ展」は良い企画だったが、子どもは扱いを知らないなので、よく見てやらないといけない。湿度などで木も割れやすい。
早川マネ	故障はあったが、作家の先生や根羽村の方に修理に来てもらった。この環境は特殊なため、今後同様の展示の際には注意したい。
加藤委員	木のおもちゃの細部は小学校高学年にも見てほしい。自然に溶け込んでいて良かった。
丸山委員	作品は個人所有か？

杉浦マネ	根羽村や愛知教育大学に保管しているものもあった。劣化するため、溜めてあるデザインを元に今回のために作ったものもある。
丸山委員	ヒノキとスギを混ぜてあった。
加藤委員	間伐材を使っていた。
杉浦マネ	先生はそれらの点にもこだわっていた。

(3) 令和元年度市民ギャラリー事業計画について

	(事務局、指定管理者による説明)
丸山委員	「モーターバイク展」は歴史博物館でやるべきだったのでは？このような展示物について展示室利用の注意事項に規定はあるか？
早川マネ	この企画はバイク所有者から博物館に持ち込まれたが、実現できず、歴史ではなくデザインという美術的側面に焦点を当てることでギャラリーでの展示となった。
峯村係長	博物館とギャラリーの展示品の棲み分けという問題もあったので、チラシ等でもデザインを推した表記にした。バイクの油や臭いは思ったほどひどくはなかったが、美術品への影響を考えないといけない。
山口統括	ボディやエンブレムに、戦後混乱期のデザインや機能美としての価値がある。難しい判断だったが、これが当たり前になってはいけないと思っている。
近藤委員	「はなが遊園地」は小中学生に見てほしい。博物館や埋蔵文化財センターは学校の見学学習があるが、ギャラリーはない。本物に親んでもらいたい。
峯村係長	ギャラリーも見学学習のコースに入れている。見学学習の説明会でPRし、実際に見学を希望している学校もある。中学生以下は無料だが、市内小中学校にチラシと無料鑑賞券を配布する。
近藤委員	中学生は特に絵に親しむ機会が少ないと思うが、講座は小中学生の参加が多いか？自分の意志が出てきた小中学生に体験してもらえると良い。
荒木指導員	子どもの講座参加は親ありき。親が申し込むため、小学校中学年までの参加が多い。「セロテープアート展」は若い世代の親からの応募

	が多かった。
近藤委員	親が興味を持てば、子どもも参加してくれるということか。
早川マネ	「木のおもちゃ展」は、当日参加があったからか高学年もいた。
丸山委員	私が5月に始めた教室も低年齢化し、小学校3年生止まり。

(4) その他

峯村係長	10月からの消費税増税に伴い、展示室の利用料金を改定予定。展示室Aは40円、B～Eは60円アップ。10月以降の支払い分から適用。
------	--

5 連絡事項

山本主事	次回の運営委員会は11月を予定。
峯村係長	(開催中・開催予定の企画展について案内)